



2009年度予算に対する要望書を提出しました

11月20日、党尾張旭市議団は、谷口幸治市長に対し、来年度予算に対する要望書を出しました。

約200項目の要望を『住みたくなる尾張旭・魅力あふれるベッドタウンをめざして』『こどもを安心して育てられる尾張旭に』『地域と共同する産業の育成を図るために』『憲法25条を実感できる尾張旭に』『平和な世界づくりに関与する尾張旭に』『信頼される効率的な市政運営を』の6テーマにまとめました。担当課ごとに要望をまとめた資料も添付しています。(全35ページ)

ベッドタウンという当市の特性を考えると、女性が働きながら子どもを育てやすい環境を整備することは、特に当市では重点的に力を入れるべき施策であること、また市民参加を促す上でも、労働条件の改善が必要ですが、それに向けて世論を喚起してゆくために、市長会



などの機会を通じて地方自治体からの声としてあげて欲しいこと。自衛隊幹部の問題発言を見ると、社会教育が戦争の起きない平和な世界を築いてゆく上で、果たす役割は大きいと考えられるため、平和教育の充実にも力を入れていただければ、市長に伝えました

●妊産婦無料検診の回数は産前14回産後1回以上とする ●中小企業振興条例の策定を検討する ●障害者自立支援法による自己負担の軽減制度は極めて不十分であるため市独自の負担軽減を図る ●介護保険料を引下げ、所得階層区分を細分化

●児童扶養手当については父子家庭にも適用されるように、市の独自施策として実施する ●非労働力と言える児童・生徒・妊婦・要介護者などの国保税均等割は免除し、相当額を一般会計から繰入れる ●就学援助制度の適用基準を当面生活保護基準の1.4倍までに引き上げる ●非核・平和の市民意識を高めるために、防災無線を使用して、8月の原爆投下時刻における追悼サイレン吹鳴を行う。などを重点施策として求めています。要望書をご覧になりたい方は、お問い合わせください。

12月議会 党議員団の質問項目 と 議会日程

川村つよし議員の質問

(8日(月)午後見込み)

1. 介護職の人材不足について
2. 税や各種保険料の
年金天引き中止を求める
3. 市街化調整区域内における
建築物の規制について

塚本みゆき議員の質問

(9日(火)午前見込み)

1. 貧困に応えられる就学援助制度
の充実について
 - (1) 就学援助認定基準の見直し
 - (2) 就学援助支給内容
 - (3) 制度の周知徹底について
 - (4) 制度の対象となる所得額の明示
 - (5) 国に国庫補助事業の充実を求めて
2. 公立保育園に安心して預け
働き続けられるために
 - (1) 公立保育園の待機児解消について
 - (2) 保育料減免の充実について
3. 学校給食費について
4. 名古屋保育短大跡地等への
対応について

議会日程

本会議個人質問

5日・8日・9日

福祉文教委員会 11日(木) …塚本議員

都市環境委員会 12日(金) …川村議員

総務委員会 15日(月)

本会議 最終日 18日(木)

開始はいずれも 午前9:30～

11/8演説会に、会場いっぱいの約100人



11月8日に新池交流館で開催した、佐々木憲昭衆院議員を迎えての演説会に、90名超の方が参加。

市南部では、かつてない規模の演説会になりました。

小泉内閣以来これまでに国民への負担は、年間12兆7000億円、一世帯当たり40万円にもなります。たった1回、6万円程度を返しても(給付金のこと)、また毎年40万円取り上げられ、3年後には消費税増税もあわせて80万円の取り上げになります。——これで、どうして景気対策・生活対策になるのでしょうか。

